

「真珠のようにきらり輝く鳥羽」をめざし～

平成23年度当初予算

総額 189億5,231万円



平成23年度当初予算が3月の定例市議会で可決されましたのでお知らせします。

本年度は、第五次鳥羽市総合計画のスタートの年です。この計画は、市民の皆様と行政が協働で鳥羽市の将来像を描いたもので、今後10年間のまちづくりの方向性を定めています。

豊かな資源とともにあるわたしたちの営みに一層磨きをかけ、まちの個性として伸ばし、その輝きを大きく広げていくという思いを込め、「真珠のようにきらり輝く鳥羽」を市の将来像としています。

くわしくは、本号とともにお配りしました計画の概要版でご確認ください。

一般会計予算の概要

一般会計は、108億4,000万円の前年に比べ3.1%増となっています。また、6つの特別会計および水道事業会計の総額は、81億1,231万円となり、合わせて総額189億5,231万円となります。

歳入予算については、市税では法人市民税の増収が見込まれる反面、個人所得の落ち込みによる個人市民税の減収など、自主財源の確保に苦慮しています。しかし一方で、地域のニーズに応えられるように、「地域主権改革」に沿った財源の充実が図られ、普通交付税などにおいて増額が見込まれます。

また、歳出予算では、弘道小学校の体育館建設事業、障害者生活介護支援施設整備事業のほか、定住促進事業や森と海・きずな事業などを展開して教育・生活環境の充実や地場産業の振興などを図る経費に重点を置いています。

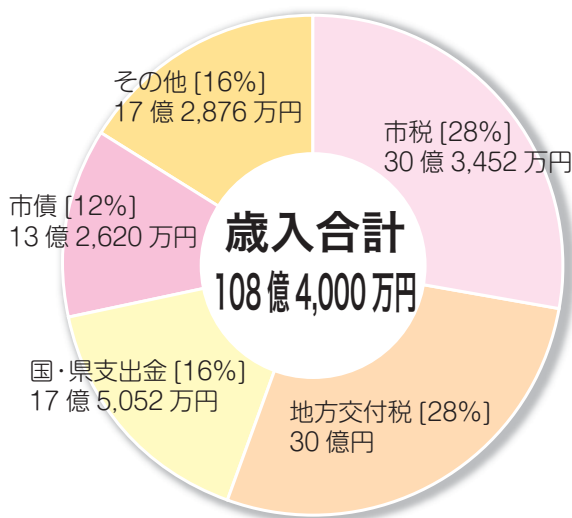
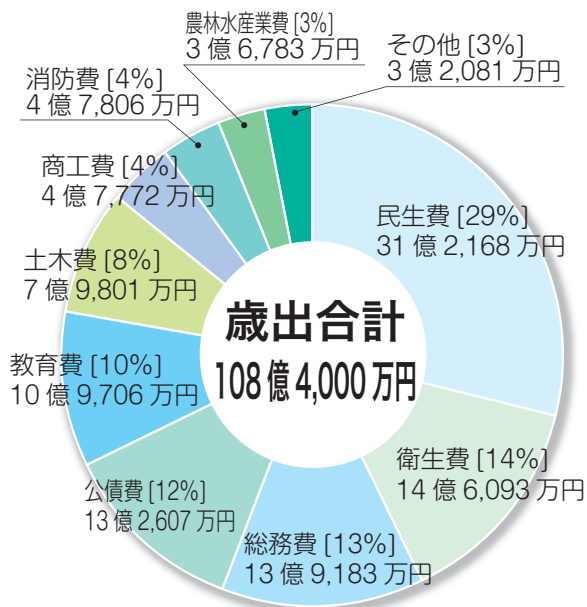


平成23年度 鳥羽市 予算

(単位：千円)

会計名	平成23年度当初予算 (A)	平成22年度予算 (B)	前年度比較		
			増減額 (A - B) = C	伸率(%) (C ÷ B) × 100	
一般会計	10,840,000	10,519,000	321,000	3.1	
特別会計	1. 国民健康保険事業	3,187,300	3,211,500	△ 24,200	△ 0.8
	2. 介護保険事業	2,179,500	1,964,000	215,500	11.0
	3. 定期航路事業	570,000	545,600	24,400	4.5
	4. 特定環境保全公共下水道事業	156,000	157,800	△ 1,800	△ 1.1
	5. 福祉資金貸付事業	廃止	1,350	皆減	—
	6. 住宅新築資金等貸付事業	380	400	△ 20	△ 5.0
	7. 老人保健医療	廃止	3,000	皆減	—
	8. 後期高齢者医療	427,000	432,800	△ 5,800	△ 1.3
	小計	6,520,180	6,316,450	203,730	3.2
企業会計	水道事業	1,592,130	1,537,230	54,900	3.6
合計	18,952,310	18,372,680	579,630	3.2	

一般会計予算の内訳は？



市民1人当たりで計算すると・・・

負担するお金	使われるお金			
市税 138,065円	総務費…市全般の管理事務など	63,325円	民生費…高齢者福祉、児童福祉など	142,030円
	衛生費…保健衛生やごみ、し尿の処理など	66,469円	土木費…道路、河川、都市計画など	36,308円
	消防費…消防、救急、救助など	21,751円	教育費…小・中学校や幼稚園の整備など	49,914円
	公債費…市の借入金の返済	60,333円	その他…農林水産、商工業の振興など	53,068円
	合計		合計	493,198円

※市税約30億円を3月1日現在の人口21,979人で割ったものです。

※目的別の各項目を、3月1日現在の人口21,979人で割ったものです。

収 入		支 出	
23年度 一般会計予算		家 計 簿	
市税など自主財源	43億8,657万5千円	→	月収(給料など) 146,219円
国・県支出金などの依存財源	51億2,722万5千円	→	親からの援助 170,907円
市債などの借入金	13億2,620万円	→	借金 44,207円
うち建設的な市債	8億8,220万円	→	住宅ローン 29,407円
うち特例的な市債	4億4,400万円	→	生活費借入 14,800円
収入計	108億4,000万円	→	収入計 361,333円
公債費	13億2,606万7千円	→	借金の返済 44,202円
人件費	27億5,095万円	→	生活必需費 91,698円
扶助費	12億3,957万9千円	→	家族の医療費 41,319円
物件費など	19億1,615万1千円	→	光熱水費など 63,872円
投資的経費・維持補修	15億3,783万4千円	→	自宅の新築・増改築 51,261円
補助費・出資金・貸付金	8億8,981万2千円	→	町内会費など 29,660円
繰出金	10億3,961万円	→	子どもへの仕送り 34,654円
積立金	1億3,999万7千円	→	貯金 4,667円
支出計	108億4,000万円	→	支出計 361,333円
資 産 の 状 況			
基金	13億5,400万3千円	→	貯金残高 45,133円
市債残高	125億125万1千円	→	ローン残高 416,708円

市の予算は、「億」単位で数字が大きすぎて実感がありません。そこで平成23年度一般会計予算額をわかりやすくするため、3万分の1に圧縮して家計の1か月分にたとえてみました。

平成23年度予算額を家計簿にすると・・・

当初予算に計上した主な事業

めづりまちの姿

「学びたい・働きたい・住み続けたい」という思いが育つまち」

● 定住応援事業

1,100万円
市内に新たに住宅を取得した若年層のかたに助成することにより、地域の活性化を図ります。

● 少子高齢化対策事業

1億6,218万円
子育て支援の一環として、妊婦健診の受診の際にかかる交通費の助成や定期船を利用する児童・生徒の遠距離通学費の全額補助を行うほか、小中学校と幼稚園に支援員を配置し、自立へのきめ細い支援を行います。

また、高齢者の支援として、離島地区での配食サービスや緊急通報システムの対象者を拡大するなど生活支援サービスを充実するとともに、肺炎

球菌ワクチンの予防接種費用の助成を行います。

● 小学校施設の建設事業

2億9,566万円
弘道小学校の体育館新築工事および加茂小学校の校舎新築の設計を行い、児童の安全で安心な学校環境づくりに努めます。

めづりまちの姿

「鳥羽ファンと市民が幸せをわかちあつまち」



● 観光振興事業

1億9,745万円
鳥羽市観光基本計画の戦略を推進するため、観光案内のサイン整備事業、観光客の滞在時間の延長を図る夜の観光

魅力アップ事業、とばーがーや鳥羽弁当などのご当地グルメの普及推進などを継続して展開し誘客への取り組みを強化するほか、新たに首都圏からの誘客を図る事業やイルミネーション整備の実証実験などに取り組み、観光の目標を着実に実現していきます。

● 漁港整備事業

1億2,910万円
各漁港施設の改良、整備を行い施設の機能向上を図ります。



めづりまちの姿

「自然と調和した営みが広がるまち」

● 森と海・きずな事業

3,407万円
加茂地区の生産林・環境林の整備や鳥羽地区で日和山などの整備を行うことで、森林の持つ本来の機能を回復させ、下流において豊かな海の育みを図ります。

● 地方道路整備事業

2億465万円
事業計画に基づき、国崎町

の市道横山線、安楽島町の第二岩倉安楽島線など5路線の整備のほか、鳥羽四丁目の市道赤崎中之郷線の排水路整備を行い、道路環境の充実と安全を図ります。

めづりまちの姿

「生きがいや安心をみんなのでつくるまち」

● へき地医療対策事業

4億2,422万円
へき地の医療機関となつてゐる診療所において、鏡浦地区の今浦に巡回診療所を開設するほか、各診療所の医療機器を整備し、医療体制等の充実を図ります。

● 消防・救急体制整備事業

1億1,092万円
市民のかたや観光客の生命、財産を災害などから守るため、消防団格納庫の新設や小型動力ポンプ付積載車、高規格救急自動車の更新のほか、耐震性防火水槽（3地区）の整備を行い、消防・救急体制の充実を図ります。

